

懸念されるドライバー不足

トラック懇話会セミナー開催

11月12日、中之島NCBホテルにてトラック産業の将来を考える懇話会・近畿、主催のセミナーが、参加者55名で開催されました。

懇話会代表の南海久次さんは「運賃を求めていくのではなく、勝ち取るという意志をもって取り組んでいきたい」と力強いあいさつがありました。

そして、一般社団法人大阪府トラック協会専務理事の滝口啓介さんのセミナーで「2028年にはトラックドライバーが28万人不足されると予想され、若い方のドライバー離れがみられて、高校でのアンケート調査

では185名のうち、ドライバー職は「選択肢にない」「興味がない」が96名の結果との事でした。



滝口啓介さん（専務理事）

トラック協会としても、高賃金、労働時間の短縮など、魅力ある職業にして行かなければいけない。また、標準的運賃届率は2022年9月末で全国70.5%、大阪90.9%と届け出率は上昇しています。

原材料価格等のコストが上昇し、

下請事業者が取引価格の引き上げを求めましたが、価格転嫁をしない理由を、書面や電子メール等で下請事業者に回答せず、取引価格を据え置いたままの荷主・元請けも多く、下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準の説明がありました。

質疑応答では、年間の時間外労働時間の上限が960時間に制限される2024年問題など山積していて、運賃収受についても認可運賃制度のような法規制にする必要性が話し合われました。

高騰する燃料価格等によりトラック業界のコスト負担は限界に来ています。トラック産業の将来を守るためにも、国、荷主、元請け、一般利用者にも訴えかけていきたいと思っています。

（執行部 竹山 保彦）

青年部2022年度体制、始動！

11月18日(金)、関西地方本部にて、大阪支部青年部第37回定期総会を行いました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症が続いていますので、大幅に時間を短縮し、十分な安全面を考慮しつつ、吉本副委員長からのあいさつから始まり、2021年度一般活動報告と総括を行い、2022年度の青年部としての運動方針および新たな新役員体制も決まりました。

最後は、青年部長を務めさせてもらっている私の団結ガンバローにより第37回定期総会は閉幕し

ました。

2021年度は新型コロナウイルスの影響により毎年行っていた海の子学園での餅つき大会等をはじめ、なかなか活動が難しい年でありました。

今後も感染状況は分からない部分が多く、今期も以前のような活動ができるかは見通せませんが、部長含め3役のメンバーが中心となり、青年部の活動の促進をより強め、運営委員会と団結して支部を支え、盛り上げていきたいと思っています。

（青年部長 芳野 栄次）

青年部役員名簿

部長	芳野 栄次 (大正埠頭)
副部長	稲葉 拓磨 (此花荷役)
事務局長	大河内孝一 (大阪機船)
事務局次長	津村 信吾 (大 商)
運営委員	小寺 賢治 (阪南港運)
運営委員	軸原 司 (大正埠頭)
運営委員	山城 勇希 (此花荷役)
運営委員	竹内 聖貴 (此花荷役)
運営委員	船津 泰和 (大阪港埠頭)
運営委員	津村 拓哉 (朽木協鐵)
運営委員	五條 達也 (朽木協鐵)
運営委員	佐久原 海 (大 商)
運営委員	鯉江 尚貴 (加藤運輸)
執行部青対部長	田村 吉雄



第366号 2022年11月25日



発行 大阪市港区築港1-12-27
全日本港湾労働組合関西地方大阪支部
発行責任者 國分 仁昭



かがやけ憲法！平和といのちと人権と

扇町公園に3000人が結集

11月3日、扇町公園にて、おおさか総がかり行動実行委員会主催の「かがやけ憲法！平和といのちと人権と11・3おおさか総がかり集会」が開催されました。

11月3日は日本国憲法が公布された日で、毎年、憲法集会が開催されています。昨年は新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して阿倍野区民センターでの開催でしたが、今年は例年通り扇町公園での開催となり3千名が参加しました。支部からは11分会総勢47名の参加がありました。

大阪憲法会議・共同センターの丹羽徹幹事長の開会あいさつで始まり、岡野八代さん（同志社大学大学院教授）がスペシャルゲストで憲法についてスピーチがあり、岡野さんと小出真理子さん（近畿労金労組員）、近田靖幸さん（大阪平和委員会青年部）の若者2人によるトークセッションで「憲法って何だろう」をテーマに討論され

ました。

川口真由美さんとおもちゃ楽団のライブもあり、政界から、高良鉄美さん（参議院議員）の沖縄からのメッセージが読み上げられ、野村いくよさん（立憲民主党）、宮本たけしさん（日本共産党）、大橋裕子さん（社会民主党）、前島かずきさん（れいわ新選組）の各党からの連帯アピールを行いました。



米田彰男さん（戦争をさせない1000人委員会・大阪共同代表）は、軍拡反対、原発反対、改憲反対をまとめ、閉会のあいさつがあ

りました。

集会終了後は中崎町と西梅田の2コースに分かれて、「憲法を変える！憲法を生かせ！」と、シュプレヒコールしながらデモを行い、全港湾は西梅田公園まで約1時間デモ行進しました。

憲法改悪を止めよう！

今夏の参議院選挙の結果、改憲勢力が衆参両院で3分の2以上となり、いつでも改憲発議ができる状況です。平和憲法といわれる日本国憲法を改悪し、緊急事態条項や武力の保有など、戦争ができる国にしようとしている岸田政権は退陣させ、自公政権、維新の会に反対し、平和憲法である日本国憲法は護らなければなりません。来年には統一地方選挙もあります。反対の声を挙げていきましょう。

（書記次長 関谷 和人）